

地震と津波に備える

新潟県では、1964年の新潟地震をはじめ、近年では2004年の中越地震や2007年の中越沖地震など、しばしば大きな地震による被害が発生しており、2007年の能登半島地震や2011年の長野県北部地震など近隣する地域でも大きな地震が発生し、市内でも被害が発生しています。さらに、糸魚川市では日本海に面しているため、津波も想定をして避難行動をすることが重要です。

緊急地震速報が発表されたときに取るべき行動とは

緊急地震速報は、大きな地震が発生したときに、地震の発生直後に地震計でとらえた観測データを素早く解析して、強い揺れがくることを事前に知らせる警報です。緊急地震速報が発表されてから地震の強い揺れが来るまで長くても数十秒しかありません。

緊急地震速報を見たり聞いたりした際には、周りの人に声をかけながら、「周囲の状況に応じて、速やかにあわてずに、まず身の安全を確保する」ことが重要です。

❖ 家庭で屋内にいるとき

地震発生時

- ・まず頭を守り、テーブルや机の下などに身を伏せる。
- ・声をかけ合い、家族の安全を確保。
- ・あわてて外に飛び出さない。



揺れが収まってからの行動

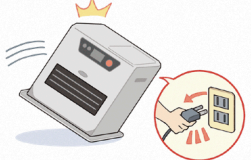
- ・ガスコンロ等の火を使用しているときは火を消し、ガスの元栓を閉める。
- ・火災発生時は、備え付けの消火器で初期消火を行う。
- ・自分で対処できないときは、119番通報や近隣に知らせ、避難を優先する。



- ・家の中を歩く際は、落下物や散乱したガラスの破片など足元に注意し、靴やスリッパをはく。
- ・ヘルメットをかぶる。



- ・暖房器具を消す。
- ・ストーブが倒れていないかなどを確認する。
- ・火災発生のおそれがあるためコンセントを抜く。



❖ 屋外にいるとき

- ・ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる。
- ・ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる。



❖ 自動車運転中

- ・後続の運転手が緊急地震速報を聞いているとは限らないため、自動車運転中は、あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす。
- ・ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する。
- ・車から離れる際はキーを付けたまま避難する。



津波警報が発表されたときに取るべき行動とは

津波警報とは、地震の発生に伴って津波による災害の発生が予想される場合、津波の高さに応じて気象庁より発表される情報です。津波の高さに応じて「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」を発表します。また、巨大（マグニチュード8を超えるような）地震の場合には、地震の規模を正確に把握するまでに時間がかかるため、第1報では予想される津波の高さを「巨大」、「高い」という簡潔な言葉で発信し、更新情報で改めて5段階の数値を発表します。

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
		10m (5m<予想高さ≤10m)		
		5m (3m<予想高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想高さ≤1m)	表記しない	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。海の中にいる人は直ちに海から上がって、海岸から離れてください。

津波から身を守るために

- 地震が発生すると津波が発生する可能性があります。まずはテレビやラジオ、スマートフォンなどからの情報に注意しましょう。また、海岸近くにいる場合は津波警報などの有無に関わらず一刻も早くその場を離れてください。
- 津波警報などが発表されたらすぐに避難しましょう。津波が来るのを見てからの避難では間に合いません。
- 津波が押し寄せたり、高くなったたりするところなどは地形による特徴があります。"より遠く"ではなく"より高い"ところを目指して逃げてください。また近くに高台がない地区では、津波避難ビルなども一時的に避難する建物になっています。
- 津波は繰り返し何度も襲って来ることがあります。津波警報などが解除されるまで決して油断はせず、安全な場所に避難して海には近づかないでください。



津波避難ビル